

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」高井田駅前校

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか			○	同室に2人の支援が難しいお子様がかんしゃくを起こしたときにリラックスできるスペースがない。そのため、通路を利用して段ボール等で区切ることによりクールダウン用の空間として利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか			○	法令上の配置数は遵守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			支援室内に段差はないが、トイレを使用するため段差に注意喚起の張り紙をしている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			○	個人ごとには行っているが、今後は事業所全体として取り組んでいく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	保護者からの意向については、アンケート調査ではなく、FBおよびモニタリングの機会を利用している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2017年、12月28分はきらり高井田駅前校のHPに掲載。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	保護者、職員間の2方面からの評価をおこなっている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定例研修会が開かれている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			FB（フィードバック）およびモニタリングをもとに計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	必要に応じて活動プログラムの立案を行う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの様子および保護者からの要望をもとに支援内容を決定している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者の状況に応じて支援内容を決定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	状況に応じて行っており、兄弟 SST を行っている利用者もいる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	平日は朝のミーティングで支援担当および情報の共通理解を図っている。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		必要に応じてミーティングを行う。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		担当している利用者の支援記録の作成および、サービス担当者会議の内容を共通理解している
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行っている。会社の方針で基本的な期間が3か月毎→6か月毎に変更
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		子どものニーズに合わせて支援を行っている。
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じた職員が会議に参加している。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		連携している学校もある。学校毎に放課後等デイサービスとの連携についての意識の差は感じられる。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要な利用者がいない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	必要に応じて情報共有をしてく。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて情報提供をしている。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	必要に応じて行っていく。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	個別支援の性質上、保護者からの要望がないため行っていない。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在は行っていない。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		FB およびモニタリングの機会に共通理解を行っている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアトレーニングの要望は多いので、保護者からの提案があればママカフェ等の機会を利用して開催を検討する。
関係機関や保護者との連携	㉔	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に児童発達支援管理責任者から説明している。
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		FB やモニタリングおよび事業所内相談支援の機会を利用して行っている。
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在の職員数では難しいが、保護者からの要望もあり、ママカフェの開催を検討中
保護者への説明責任等	㉗				

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			受付箱は設置していないが、管理者を含め3か所の苦情対応窓口がある。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	集団 SST をする前には保護者に行事の予定を周知している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きのロッカーに個人情報を保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に応じて行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別支援の性質上行っていない。今後保護者からの利用があれば検討する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員間では共通理解を行っており、保護者には契約時に児童発達支援管理責任者から説明している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度防災訓練を行っている。また、非常時持ち出し物の準備および避難経路の確認を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			必要に応じて研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に記載の上、保護者には個別の支援計画の説明時に説明。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供をおこなっていないが、面談時にアレルギーの有無等を保護者に確認をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例が起こった場合は職員間でミーティングを行い、共通理解と再発防止に取り組んでいる。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「さきり」高井田駅前校 保護者等数（児童数 26 回収数 16 割合 61%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	3		無回答 1
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	16			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	16			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	3	4	無回答 3 「交流する機会はありませんが、交流を特にのぞんでいません。」という声がある。そのため利用者の個別の支援に全力を尽くすことができます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15			無回答 1
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5		無回答 2
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2		無回答 1
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			無回答 1
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3		無回答 2 「発信されているかもしれないが、そのことを知らない」という意見があったので、今後は必要に応じて面談室の掲示板やHP等で行事予定および自己評価の結果等を発信していく。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	1 2	2		無回答 2
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1 4	2		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1 1	3		無回答 2
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	1 4	2		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	1 6			保護者からは「いつも子どもたちや私の話を聞いてくださりありがとうございます。」というコメントをいただいているので、今後も支援に満足してもらえるように取り組んでいく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。